

ブコラム®を使用されるお子さんの介護者の方へ

ブコラム® 使い方 ガイドブック

監修：独立行政法人 国立病院機構 南岡山医療センター 小児神経科顧問

吉永 治美 先生



てんかん重積状態とは？

「**てんかん重積状態**」とは、てんかん発作・けいれん発作(以降、本冊子では「発作」とする)が5分以上続いたり、短い発作が意識の戻らないうちに繰り返し起こる状態をいいます。

発作は、多くの場合1～2分で止まりますが、**5分以上続く**と自然に止まりにくくなり、**30分以上続く**と脳に重い障害を残す可能性が高くなり、ときに命にかかわることもあります。



● 「てんかん重積状態」になる主な原因



「てんかん重積状態」は、病気としての「てんかん」がなくてもなることがあり、子どもでは「**熱性けいれん**」、「**細菌性髄膜炎**」、「**急性脳症**」などによるものも多いといわれています。

もともと「**てんかん**」の病気がある場合、この「てんかん重積状態」をたびたび繰り返す方もいます。

● 病気としての「てんかん」とは？

「てんかん」は、てんかん発作を繰り返す慢性的な脳の病気で、子どもから大人まで、誰にでもなる可能性があります。

脳の神経細胞は、普段から電気信号を出しており、そのスイッチが入ったり切れたりすることで、からだへ情報を伝達していますが、「てんかん」では、脳の神経細胞が突然興奮しすぎることによって、さまざまな症状（発作）を起こします。



ブコラム[®]とは？

「てんかん重積状態」の発作を止める効果が期待できるお薬で、介護者の方も投与することができます^{※1}。

※1 生後3～6か月のお子さんの場合は、医師のもとで投与する必要があります。

口の中(歯ぐきと頬の間)にゆっくりと全量注入します。

年齢

3か月^{※2}～
1歳未満



投与する
お薬の量

0.5mL

1歳～
5歳未満



1mL

5歳～
10歳未満



1.5mL

10歳～
18歳未満



2mL

本体



※2 正常分娩で3か月齢のお子さんの場合、妊娠から分娩までの週数(40週)に出産後の週数(12週)を加えた期間(修正在胎)は52週になります。通常より早い出産の場合は、3か月齢であっても修正在胎52週まで本剤の使用はできません。

ブコラム[®]を投与するタイミングは？

ブコラムは、主治医の指示に従い、「てんかん重積状態」と判断されるときに投与します。

投与するタイミングについては、事前に話し合っておきましょう。

発作開始

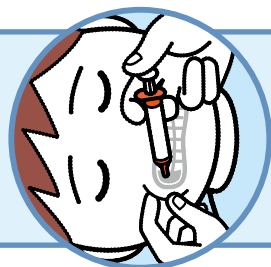


一般的な投与判断の目安は**5分**とされています。

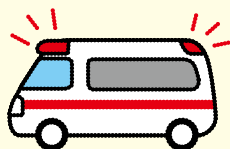
発作が自然に止まるかどうか、静かに観察しましょう。



発作が続き、「てんかん重積状態」と判断される場合 **ブコラム** をゆっくりと全量注入してください。



- その後のお子さんの様子や発作の状態を観察してください。
- **救急搬送を手配するタイミング** については9～10ページをご確認ください。



発作が起きたときの対処法は？

発作は、多くの場合は自然に止まります。発作が起きても、**あせらずに落ち着いて**、以下の対応のポイントに従って行動しましょう。



対応のポイント

- ✓ お子さんを倒れないように支え、安全な場所に移動させる
- ✓ 横向きに寝かせ、楽な姿勢をとらせる
- ✓ 頭の下にクッションや枕などのやわらかいものを敷いて、頭を守る
- ✓ まわりに危険なもの(熱いもの、とがったものなど)があれば遠ざける
- ✓ からだをしめつけないように衣服をゆるめ、メガネは外す
- ✓ 発作の様子を注意深く見守り、時間を計る





発作が起きたときの**注意**

押さえつけては**ダメ!**

からだを押さえつけたりせず、危険がないよう静かに見守りましょう。無理に押さえつけて強い刺激や恐怖感を与えると、かえって興奮することがあります。



ブコラム以外、 口の中にも**ものを入れない**でください

舌を噛まないようにと、発作中に口の中にもものを入れると、口の中を傷つけたり窒息の原因になることがあります。



口の中にも**ものが入っている**ときは **注意**しましょう

口の中にもものが入っている場合、可能であれば取り出してもよいですが、逆に喉の奥に押し込んでしまったり、おう吐を誘発してしまったりする危険性もあります。したがって、口の中のものやおう吐物で窒息してしまうのを防ぐためにも、からだを横に向けて見守りましょう。



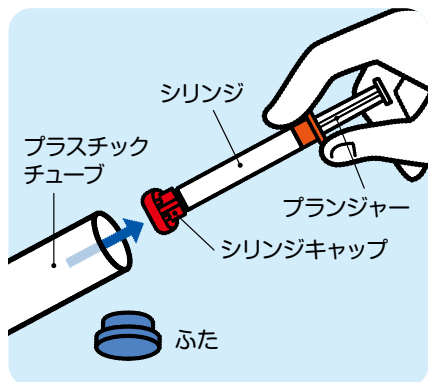
● 入浴中に発作が起きたら?

入浴中に大きな発作が起きると、命にかかわる可能性もあります。

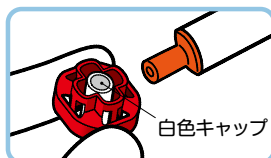
ひとりで入浴するときは、日頃から家の人がこまめに声をかけるなど様子を確認するように心がけましょう。もし浴槽の中で発作が起きたら、気づいた人がすぐにかけてつけ、本人のからだを支え、浴槽の栓を抜き、安全な場所に移動させましょう。



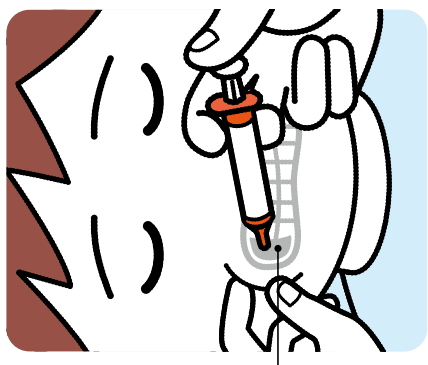
ステップ 1 準備をしよう



- シリンジを取り出します。お子さんにおう吐やよだれがある場合は、拭き取ります。
- シリンジキャップを取り外します。万が一、内側の白色キャップが同時に外れていない場合は、確実に取り外します。



ステップ 2 投与しよう



歯ぐきと頬の間に
ゆっくり注入

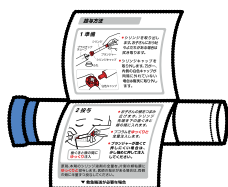
- お子さんの頬をつまみ広げます。シリンジ先端を下の歯ぐきと頬の間に入れます。
- ブコラムを**ゆっくり**と全量注入します。
- プランジャーが固くて押しにくい場合は、少し強めに押し注入してください。

※ブコラムは頬の粘膜から吸収されるお薬のため、できるだけ飲み込まないように注意してください。

原則、ブコラムのシリンジ液剤の全量を、片側の頬粘膜に**ゆっくり**と投与します。医師の指示がある場合は、両側の頬に半量ずつ投与してください。

介護者の方が**ブコラム**を使う場合、主治医の指示に従って投与してください。

1回分(シリンジ1本)のみの投与としてください。



各製剤の
プラスチックチューブに
「取扱説明書」が
貼り付けられていますので、
こちらをご確認ください。



ブコラムを投与するときに注意するポイント

- ブコラムは、口の中(歯ぐきと頬の間)に注入するお薬ですので、**その他の使い方はしないでください。**
- ブコラム投与後に発作が再び起こった場合でも、**追加投与しないでください。**
- ブコラムを投与するタイミング、量などは事前に主治医とよく話し合っておく必要があります。**投与方法についてご不明な点がある場合は、必ず主治医または薬剤師にご相談ください。**
- 空になったシリンジは、主治医の指示に従って、**適切な方法で廃棄してください。**

救急搬送するのはどんなとき？

ブコラム投与後、**原則救急搬送を手配し**、以下に当てはまる場合には**主治医の指示、医療従事者の説明に従い医療機関を受診**してください。

ブコラム投与時および投与後の対応については、事前に話し合っておきましょう。



ブコラムを投与しても
10分以内に発作が治まらない



シリンジ内の液剤を全量投与できなかった
(液剤をこぼしてしまったり、プランジャーを最後まで押せないなど)



ブコラム投与後、
以下のような症状・兆候がみられた場合

- ◆呼吸がより遅い、浅いまたは止まった、唇が青い
- ◆胸が痛いまたは苦しい、首から肩・左腕にかけて広がる痛み
- ◆意識がもうろうとしている、意識がない
- ◆ひどい眠気や疲労、ぐったりしている、つねっても反応しない
- ◆めまい、脈が弱い
- ◆気分が悪い、おう吐
- ◆話す内容や行動がおかしい、興奮状態



なお、ブコラム投与後、上記に当てはまらない場合においても、**随時医療機関の受診は必要**です。

救急搬送された場合には、医療従事者が、**ブコラムの投与状況を確認**できるよう、**使用済みのシリンジをご提示**ください。



救急搬送に際しては、**医療従事者が適切に対処できるように、介護者の方から以下の項目などを伝えるようにしてください。**



医療従事者・救急救命士に伝えてほしいこと

- ✓ **発作の状態**
⇒ 発作の持続時間、頻度、どのような発作か など
- ✓ **発作が起きたときの状況**
⇒ 何をしていたときに起きたか など
- ✓ **意識の有無**
⇒ 発作前・発作中に意識はあったか
- ✓ **発作後の経過**
⇒ 発作がどのように変わっていったか
- ✓ **今回の発作で考えられる原因**
⇒ 病気としての「てんかん」があるか、
熱性けいれんや細菌性髄膜炎、急性脳症などが考えられるか など
- ✓ **てんかん重積状態の既往歴**
⇒ 過去に同じような発作を起こしたことがあるか
- ✓ **服用しているお薬、および、飲み忘れの有無**
⇒ 抗てんかん薬を使っているか、そのお薬を飲み忘れていないか など
- ✓ **ブコラムなどのてんかん重積状態のお薬の使用の有無**
⇒ ブコラムを投与したのに発作が続いた、
ブコラムが手元になくて投与していない など
- ✓ **アレルギーの有無**



ブコラム®による注意すべき副作用は？

ブコラムによる注意すべき副作用として、「呼吸抑制」があります。呼吸抑制が起こると、呼吸が遅くなったり、浅くなったり、止まったり、唇が青くなったりします。

お子さんにそのような症状がみられた場合は、発作が止まったとしても、すぐに医療機関を受診してください。

その他、ぐったりする、眠気がでる、下痢する、気分が悪くなる、吐くなどの副作用がみられることがあります。

ブコラムの投与後、体調が回復するまでは二輪車の運転や機械の操作などはさせないようにしてください。

上記以外の副作用が起こることもありますので、いつもと違う状態で心配なときは、すぐに主治医に連絡してください。



呼吸数、脈拍数の測り方

●呼吸数

安静にしているお子さんの胸やお腹の動き、口や鼻から吐き出される息の様子を観察したりしながら測ります。

●脈拍数

お子さんの手首の親指側の下の方にある動脈に人さし指、中指、薬指の3本の指をあて、脈が触れるのを確認しながら測ります。

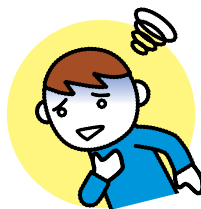


ブコラム®を使うときに注意が必要な人は？

ブコラムは、以下のような人に使うときは注意が必要です。
お子さんが当てはまる場合は、事前に主治医にご相談ください。

● もともと以下のような病気や障害、背景がある

- ・呼吸器の病気がある
- ・心臓の病気がある
- ・からだが衰弱している
- ・アルコールや薬物を乱用したことがある
- ・水分・電解質の重い障害がある
- ・脳の障害がある

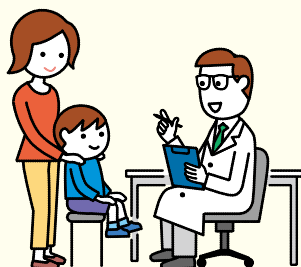


● 他の発作を止めるためのお薬

(ベンゾジアゼピン系の坐薬など)を使っている

(ブコラムの作用が強く出てしまうおそれがあるため)

上記以外であっても、
お子さんに他の病気
あったり、他のお薬を
使っている場合は、事前に
主治医にお伝えください。



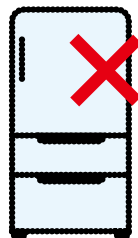
ブコラム®の保管で気をつけることは？

ブコラムを保管するときは、以下の点に注意してください。

- ブコラムは、お子さんの手の届かないところに保管し、直射日光を避け、室温で保存してください。



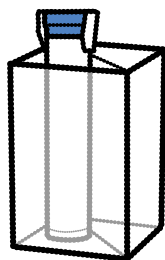
- ブコラムは、冷蔵庫や冷凍庫に入れないでください。



- シリンジは、プラスチックチューブに封入された状態で、ふた部分を上にして立てて保存してください。箱に入れて保管するなど、倒れないように注意しましょう。

[有効成分がシリンジの構成部品(プランジャー先端ゴム部分)に吸収されるおそれがあるため]

違う容器に入れかえないでください。



- プラスチックチューブに書かれている使用期限を守ってください。使用期限が過ぎた場合や、年齢が上がって投与するお薬の量を増やす必要がある場合(3ページ参照)は、お手元のお薬は使用せず、医療機関に持参してください。

Note

A series of 25 horizontal dotted lines for writing notes.

ブコラム®を使用されるお子さんと
介護者の方向けのサイト

ブコラム.jp



「てんかん重積状態」についての解説や
ブコラムがどのようなお薬かをくわしく紹介しています。
ブコラムの投与方法は動画でもご覧いただけます。
ぜひご確認ください！

医療機関名



武田薬品工業株式会社